

星座百首(二) 某女

馭者座

馭者にしていごもやさしき牧者なる
アンテスの王 アウリガの君

牡羊座 牡牛座

牡羊も牡牛も共に天の原
ひろき牧場にむれつむつびつ

オリオン座

オリオンは星列美事な星座にて
三ツ星四天王ミ一目にてしる

魚座

魚座には春分点のあるために
おのづからにぞ人の眼をひく

鯨座

鯨座はミラ星ありて名も高し
變光星中の代表星なり

エリダヌス座

エリダヌス流れくゝて長々
百三十度にわたる長流

兎座

龜にまけ天ににけた 兎さん
ゆつくり午睡をなさいませ

鳩座

箱船をつくりしノアのその昔
むかしノアの鳩ぞこの鳩

爐座

爐に入れて何を分析したまふか
天の川原の化学者殿は

時計座

時計座よくなるはぬ時を刻々に

彫刻室、彫刻具

地球の人に報じたまひね
彫刻師いづこへ行きし彫刻具

鳳凰座、祭壇座

祭壇に麒麟鳳凰柱として
天の川原にみそぎしてまし

及び麒麟座

天海を渡るアルゴよさし示す
羅針盤座に心してゆけ

羅針盤

アルゴ船四つにわけて龍骨座艦座
うつくしき冠二つ天にあり

龍骨座、艦座、檣座
及びラシンバン座

一は北天 一は南天
獵犬をつれて牧夫はいさましく

北冠座、南冠座

天の原をば狩りくらしつゝ
ながいさほしは天にかゞやく

牧夫座

丈夫の世々のかゞみミヘルクレス
ぬば玉の髪の毛ふさに乙女子が

ヘルクレス座

たてる姿ぞ愛らしきかな
ベレニスの手ひの髪の毛うつされて

乙女座

幾億里ありきもしれぬ大蛇を
美事につかふ蛇遣かな

髮毛座

蛇座、蛇遣座

蛇座、蛇遣座

(二九)